

「アビコメ プロジェクト」 新しいビジネスモデルの個人メーカーになろう!!

「アビコメ プロジェクト」の名前の由来は「新しい」「ビジネスモデルの」「個人」「メーカー」の頭文字をとって「アビコメ」となりました。

バックを生産するには最低でも100個からの生産になります。バックの形のデザインを一定にして正面部分に参加者の個性を出し10名が10個ずつ発注すれば商品が作れます。これを基に生産行程から販売方法の開拓までを研究、経験していく事をコンセプトにこのプロジェクトは発足致しました。(3年計画)

2008年は1年をかけて、販売や生産に携わるプロフェッショナルに参加頂き、この2009年にはバッグ製造業者に協力をいただき、TDAの参加メンバーの個人発注による第一回目の個性豊かな商品が出揃いました。そして2010年は、商品の販売方法、ルート開拓の研究を継続予定です。

今後は、このしくみにより出来た商品を個人で売る事は勿論のこと、TDAだからこそできる見せ方、売り方を(TDAの成長とともに)拡大していきます。バージョンアップも考え合わせながら、バッグに固執する事なく、このしくみを活かし長期的に新しい販売方法を開拓し、さまざまなアイテムにトライしていきます。

● 第一回生産に当たって参加者の反省

○野々口/プリント素材3柄

オリジナル生地之余分を取らずにプリントしてしまった為、完成生地が縮み、縫製に苦労した。どこか「和」を感じるデザインになった。洗えるのかどうか不明。持ち手の長さを長くしたい。今回用意した資材のベージュよりも、もう少し濃いベージュを使用したい。

○宮武/テーブルクロスのパネル柄

1枚の大柄プリント生地を使用した為、柄のとり方によってバックの柄が異なる。また、この点をディスプレイにも活かしたい。

○奈良平/ナイロン素材3柄

織りネームの場所が中心からズレてしまった。

○將積/手織り素材2柄

手織りのスカート用生地を使用した為、ほつれてくる。→「織物」は、裏打ちが必要。ラオスで作るよりも安い。

○山口/ジャカード素材3柄(その他数柄を作成)

アルファベットからデザインしたジャカード素材を使用して作成した。カラーはおとなしくし、持ち手とオリジナル生地との結合部分に柄が重ならないように気を配った。ブランベートブランド「my.s」のロゴをデザインした織りネームを使用した。今回、「プロダクトとしての商品企画(ルート・ターゲット・上代設定など)」は、やりづらく、「1点もの」として展開する方がよいのではないか。

○佐々木/プリント素材3柄

オリジナルのプリント生地は、デザインしたカラーとは違うカラーに仕上がってしまった。プリント生地は、一枚がおよそ1000円程度で作成した。

○矢澤/コルクシート素材

テーマは「エコロジー」。デザインをシンプルにすることで、コルクの素材感を活かした。アクセントに羽をデコレーションした。